

## 経営会議の内容

件名	大和市下鶴間ふるさと館条例の一部改正について
所管部	文化スポーツ部
日時・場所	平成22年5月18日(火) 10:00 ~ 10:25 政策会議室
出席者	市長、副市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、教育部長、スポーツ課長、財政課長、総合政策課長、総合政策課総合政策担当係長
提出理由	大和市下鶴間ふるさと館の運営をより地域に密着したものとするために、管理運営手法を変更する必要があるため。
会議経過	<p><b>【主な意見等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤職員を配置することで、開館時間の變更に柔軟に対応できるようになると思われるが、開館時間が減少する理由を伺いたい。  (所管部) 人員体制としては、「つる舞の里歴史資料館」に市職員3名を配置し、必要に応じて「下鶴間ふるさと館」の非常勤職員1名を支援する考え方である。「つる舞の里歴史資料館」は月曜日が休館日であり、職員が平日に交代で休みを取ることを考えると、現状の体制で「下鶴間ふるさと館」の支援を行うことは難しい。そのため、月曜日に加えて火曜日も休館日とし、開館日は減少している。また、「下鶴間ふるさと館」の運営費を最低限のコストにとどめるうえでもやむを得ない対応と考えている。</li> <li>・「管理運営上の課題等」に地域との連携や交流を図るためのコーディネイトが十分に機能していないとあるが、理由を伺いたい。  (所管部) 「下鶴間ふるさと館」を指定管理とし、「つる舞の里歴史資料館」を市直営としたことで両施設の連携が図りづらくなったこと、また、指定管理者は民間事業者ということで地元との連携が十分に図られなかったことなどによる。  今後は歴史に精通したボランティアを取り込んで、企画などに参画してもらい、地域との連携を深めたいと考えている。</li> <li>・「下鶴間ふるさと館」の指定管理料はコストパフォーマンスが低すぎる。「郷土民家園」は54,000人の来場者で、約800万円の指定管理料であるのに対し、「下鶴間ふるさと館」は6,000人の来場者で、約1,200万円の指定管理料がかかっている。</li> <li>・今後、指定管理の実施にあたっては、費用対効果をよく考えるように。</li> </ul>
会議結果	案のとおり、進めていく。